答え 1月7日 今日は何の日クイズ

赤い字が答えです



七草がゆにちなんで「春の七草クイズ」

【第1問】七草がゆを食べる1月7日。五節句のうち、何の節句でしょう？

① 上巳（じょうし）　②人日（じんじつ）　③ 端午（たんご）

1月7日は「人日の節句」。昔の中国で、正月7日を「人の日」として大切にしたことに由来します。五節句には、ほかに桃の節句（上巳）や端午の節句などがあります。

【第2問】春の七草の「すずな」。今でいう何の野菜でしょう？

①かぶ　② 大根　③ 白菜

すずなは、かぶのこと。丸い根を、神様を呼ぶ鈴に見立てたといわれます。葉もやわらかく、七草がゆでは葉ごと刻んで入れます。

【第3問】では、春の七草の「すずしろ」は、今でいう何でしょう？

① かぶ　② にんじん　③大根

すずしろは大根のこと。「汚れのない清白（すずしろ）」の意味がこめられているといわれます。七草の中で、ふだんの食卓でいちばんなじみのある野菜かもしれませんね。

【第4問】別名「ぺんぺん草」と呼ばれる七草は、どれでしょう？

① せり　②なずな　③ はこべら

なずなの実は三味線のばちに似た形で、三味線の音から「ぺんぺん草」と呼ばれます。道ばたでもよく見かける草です。

【第5問】春の七草は食べるもの。では、秋の七草はどうするもの？

① おかゆに入れて食べる　② お茶にして飲む　③花をながめて楽しむ

秋の七草（はぎ・すすき・くず・なでしこ・おみなえし・ふじばかま・ききょう）は、花を見て楽しむものです。万葉集の山上憶良（やまのうえのおくら）の歌がもとになっています。

【第6問】1月7日は爪切りの日。昔は爪を切る前に、何にひたしたでしょう？

①七草をひたした水　② お酒　③ 塩水

七草をひたした水に爪をつけ、やわらかくしてから切る風習がありました。「七草爪」といい、その年は風邪をひかないといわれました。お風呂上がりに切るのも同じ理屈です。

ねらい： 記念日の話題から、知っていることを思い出します。
声かけ： 『「今日は何の日？」から、話を広げてみましょう』
メモ： 答えのあと、うんちくを読み上げると話が広がります。

まいにち元気プリント道場
プリントのダウンロードはこちら →

© 株式会社おふとん　施設・教室・ご家庭で自由にコピーしてお使いいただけます